

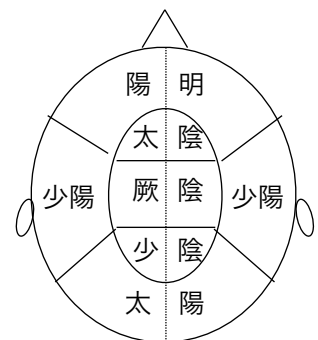
[9] 片麻痺

(1) 基本的に

- ① 脳梗塞など中枢神経性疾患による麻痺
- ② 時間が掛かるし、脳神経の破損量が多いと難しい
- ③ 基本的治療手段
 1. 指先を刺激する（早期から実行すると効果的、刺激から逃げる動作が出たら痙りを見付け改善）
 2. 首を中心に肩や鎖骨の周りなども含め脳への血流を妨げるシコリを無くす
 3. 皮膚表面の温度差、感覚の有無の境目の中枢よりツボが出ていることが多い
 4. 脳神経が破損した所に近い頭の表面から邪気が出ていることが多い
 5. 腹の痙りなど慢性期の古いツボの出やすい所も調べ、ツボが出たら刺鍼
 6. 脳梗塞の場合には、悪血を排出する漢方薬や食養も大切

(2) ツボが出やすい所

- ① 手足の指先
 1. 足：指端、井穴、骨空、節紋、指裏横紋中央、着地曲、失眠など
 2. 手：指端、井穴、骨空、節紋など
- ② 指先の灸で逃げて痛みが出た所
 1. 足指先の灸で逃げて痛みが出た腰～大腿～下腿
 2. 手指先の灸で逃げて痛みが出た肩～上腕～前腕
- ③ 首など脳への血流に関する所
後頸部、横頸部、前頸部、鎖骨の周り、（肩、脇の下、肩甲間部）
- ④ 皮膚表面の温度差、感覚有無の境目の中枢より
- ⑤ 脳障害部位の近くとその該当経絡
 1. 脳損傷部位に近い頭の表面
 2. 1.に経絡的に関係する手甲や足甲1-2間
- ⑥ 手指の動き：指を動かす筋の筋腹
前腕の最も太い部分に多いが、親指は手平も（例：拇指球）



頭と経絡

(3) 手順：基本的には、慢性期の型+指先の灸

- ① ツボを考慮して慢性期の型をして全身状況を把握（仰向けになりにくいときは省略も可）
 1. 脳への血流を考え、首の周りを丁寧に
 2. 頭の損傷部位の近くへの刺鍼や関連する引き鍼
 - ② 指先に灸して逃げる動作を誘導→逃げる動作が出たら制限か所の刺鍼
 1. 足が少しも動かないときには、患側を上にした横向き（重力に逆らわない）
 2. 少し動くようになったら、仰向け（少し重力に逆らう）
 3. よく動くようになったら、座位（重力に逆らい、歩くときと同じ姿勢）
 - ③ 逃げる動作が出ないときには、皮膚表面の温度差や感覚差を調べ対処
- (*) 仕上げに手指の指先に再度直接灸